

YOUTH UNESCO 特集

P.2の記事は松浦慎さん(奈良ユ協青年部)提供

*第20回ワン・ワールド・フェスティバル 2013.2.2~3 大阪国際交流センター
*第3回青年ユネスコ全国大会・総会(青年サミット) 2013.2.9~11 名古屋市

*第1回U-TED 2013.3.9~10 大阪国際ユースホステル(高石市)

UNESCO Technology Entertainment Design
色んな知識や技術を楽しく刺激的に学んだり、
自分の生活や生き方をデザインしたりしていく
という意味を込めている。

全国のユース会員が5分科会で今日の課題を話し合う

①ミニマウスの発揮するフォローシップ ②これから親になるかもしれないあなたに
③どうなる? どうする? 原子力 ④いじめは止められるか? ☆熱アツ語り部屋☆ ⑤ユネ
スコ平和の砦の裏側... 私たちができる平和の作り方とは?

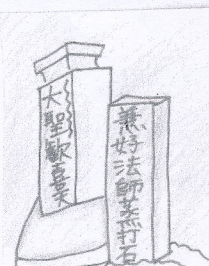
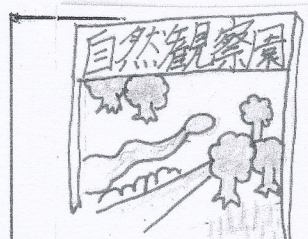
○第12回南北コリアと日本のともだち展・大阪展 2012.12.14~16 大阪国際交流センター

(絵画展・子どもWSともだちづくり名人・シンポジウム・韓国ゲスト招へい交流)

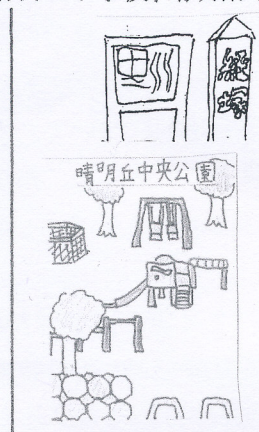
エリーニ&奈良ユ協ユース会員は会場設営、子どもWS、韓国ゲストの子どもの大阪めぐりを企画実施



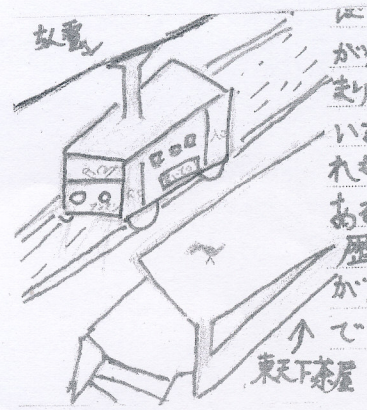
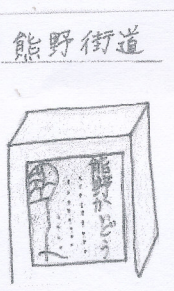
安倍晴明



○エリーニ・ユ協ユース「わたしの町のたからもの」発行 2013. 3
晴明丘小学校、晴明南小学校6年生の描いた絵による地域(未来)遺産MAP



ABENO



予定

○日ユ協連 第45回ユネスコ子どもキャンプin東京 2013. 8. 2~7

○奈良ユ協青年部 4月以降奈良めぐり、奈良キャンプ研修会など開催

ワンワールドフェスティバル

2013年2月2日～3日、大阪国際交流センターで行われた「ワンワールドフェスティバル」において、「近畿ユネスコ協議会」で出展しました。主な紹介の内容は「日本ユネスコ協会連盟について」「日ユの活動（世界寺子屋運動、世界遺産活動）について」「近畿の青年活動について」です。

想像を超える多数の方が見に来てくださいました。ちらしを配り、ユネスコについて宣伝することができました。一般の人に活動を紹介することで、ユネスコのことや自分たちの活動について整理することができました。大会会員の方々も来てくださり、実際の活動の場を見ていただいたり、一緒にちらしを配っていただいたりすることを通して、垣根を超えた活動の可能性を感じることができました。

青年全国大会

2013年2月9日～11日、愛知県名古屋市にて全国的青年連絡組織による「第3回青年全国大会」及び「第3回通常総会」を開催しました。青年全国大会では、・様々な地域の活動を知ること、自分たちの活動を見つめ直し、より良いものにするきっかけを得る。・今後のユネスコ活動について語り合うことで、青年全体の、各所属団体の、個人の活動に対する方向性を見つける。・地域や世代を超えた交流を通して、青年の絆を深める。ということ目的に「日本ユネスコ協会連盟の理事会について」「つながりを形にするためには」「地域活動を輝かせるためには」「ユネスコ広報の仕方」の4つの分科会に分かれて研修を行いました。また、総会では、日本ユネスコ協会連盟に推薦する評議員、理事候補の選出を行いました。また、全国的青年連絡組織の新役員選出、事業報告・事業計画・予算（案）の審議を行うと共に日本ユネスコ協会連盟に提案する「青年声明」について、議論を行いました。青年声明の提案は3つです。

- ・青年予算への十分な配慮をお願いしたい。
- ・ユースセミナーの再開を希求する。
- ・事業策定に青年の意見を取り入れてほしい

U-t e d

2013年3月9日～10日、大阪国際ユースホステルにて第1回U-TEDを行いました。5つの分科会に分かれて、各テーマに沿って深く学び、意見を交わし合い、自分の言葉で語れるようになろう、というものです。分科会の内容は、「リーダーシップ、フォロワーシップについて」「出生前診断について」「原発問題について」「いじめ問題について」「戦争と平和について」です。分科会ごとに展開方法を工夫し、参加者が単に知識の習得に終わらず、自分事としてとらえ、相手に対して発信できるように考えられていました。設定テーマは難しかったですが、真摯に向かい合い、自分の言葉にしていく過程から、充実した時間を過ごしていることが見て取れました。

今までは日本ユネスコ協会連盟が主催の「ユースセミナー」が行われていましたが、中断（廃止？）されて数年たっています。今回は補助金もない中で自費で60名の参加者が集いました（東は関東東京から西は九州宮崎まで）。全国各地で活動する高校生から社会人が集まり、意見や情報を交換する場が必要だという強いニーズが感じられました。